

研究目標

主体的に自分の世界を広げていこうとする態度を育てるための教育活動全体を通じた指導の在り方を、特別活動を核とした活動場面の工夫と、特別活動と道徳の時間とを関連付けた指導計画の改善を通して明らかにする。

研究の内容と方法

(1) 特別活動と道徳の時間との関連付け

- ① 道徳の時間と特別活動との関連を図った指導計画の見直し
- ② 体験活動の記録の累積
- ③ 道徳の時間における活用場面の類型化

(2) 特別活動を核とした体験活動の充実

- ① 様々な道徳的価値に気付き、自らの考えを深められるような活動の設定
- ② 活動の視点を与えたワークシートの活用

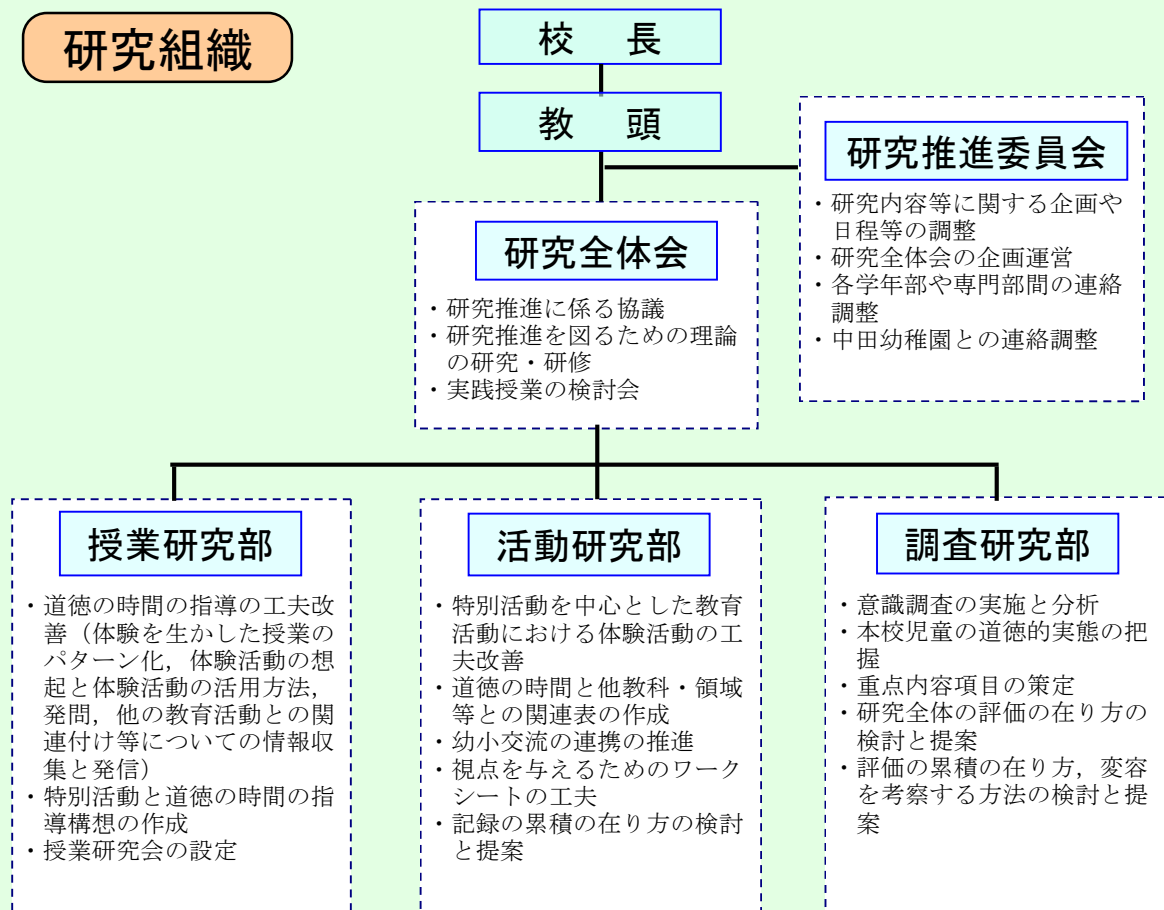
(3) 道徳教育推進教師を中心とした全体指導体制

- ① 体験活動と関連付けた道徳教育全体計画の提案
- ② 指導用教材の整備、管理

(4) 研究成果と課題の把握

- ① 意識調査による実態と変容の把握
- ② 児童の実態や保護者の願いから見える、目指す児童の姿の策定

研究組織



多くの人とかかわり、自分の世界を広げる子どもの育成
—特別活動を核とした活動場面における体験活動の工夫を通して—

